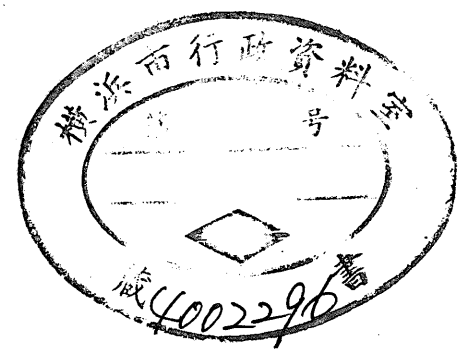


全員協議会資料

昭和46年11月24日開催

金沢地先埋立事業計画の変更(案) について



都市開発局

金沢地先埋立事業計画の変更(案)

横浜市都市開発局

館内

中央ヨコハマ 262-0050

横浜市立図書館



2008905021

517.3

4



貸出期限票	
貸出期間は1週間です。 下記の日付までに返却願 います。(郵送・宅配便可) 〒231横浜市中区港町1-1 横浜市市民情報センター ☎045-671-3900	
貸出日	返却期限
2/4	7.13

目 次

	頁
1. 原計画確定までの経緯	1
2. 原計画の概要	1
3. 計画変更の理由	2
(1) 漁業補償交渉が当初予定より遅れたこと	2
(2) 環境整備のための投資額を大幅に増加したこと	3
(3) 労務費, 材料費等の物価上昇に対応できる措置 をとり入れたこと	3
(4) 海の公園の形状と規模が新しい構想で検討され ているのに対応する措置を講じたこと	4
4. 変更計画の概要	4

○ 参 考

1. 2号地の埋立免許申請について
2. 金沢地先埋立事業費新旧対照表
3. 金沢地先埋立計画平面図(変更計画)

1. 原計画確定までの経緯

さる昭和41年5月に策定した横浜国際港都建設総合計画の一つとして、横浜市は商住工混在の著しい現在の都心部の再開発により、都市機能の強化と充実をはかるため、都心部の既存工場等の移転に必要な用地を埋立地に求めることとし、金沢地先海面約660万平方メートルを埋立てる計画を立案しました。

この埋立計画については、その後

昭和42年9月 港湾審議会（運輸大臣の諮問機関）において異議ない旨の答申。

昭和42年10月 運輸大臣から市長にあて埋立計画は適当である旨通知。

昭和43年7月 埋立計画実施のための継続費設定を市議会に付議可決。

という手続きを経て、次項の計画概要による内容で発足いたしました。

2. 原計画の概要

対象区域	金沢区富岡町から乙鱸町に至る延長7,000メートルの地先海面
事業費	412億8,901万余円
埋立面積	約660万平方メートル（約200万坪）
護岸延長	約8,090メートル

事業年度 昭和43年度～昭和47年度の5か年継続事業
であり、土地利用計画としては、

都市再開発用地 約 430万平方メートル（約 130万坪）

住宅用地 約 100万平方メートル（約 30万坪）

海の公園用地 約 65万平方メートル（約 20万坪）

公共用地 約 65万平方メートル（約 20万坪）

でありました。

なお、事業資金については、総事業費 412億余万円のうち 288億円を外貨建起債に求め、その他については完成埋立地の売却代金により充当する計画でありました。

このうち、外貨建起債については、すでにご承知のとおり昭和43年、昭和44年及び昭和46年の3回にわたり西独において1億マルクずつの発行を成功裡に済ませております。

3. 計画変更の理由

原計画を立案しました昭和43年当時と比べて、その後4年間に、たとえば金沢木材港の事業化などいくつかの事情の変更がありました。

そのうち、主として以下各項に掲げる理由により計画変更をすることといたしました。

(1) 漁業補償交渉が当初予定より遅れたこと。

共同漁業権及び区画漁業権を有する富岡、柴及び金沢の3

漁業協同組合から埋立についての同意を求める交渉は、

昭和43年7月 事業決定後開始

昭和45年2月 大綱妥結

昭和45年3月 埋立免許申請

昭和46年1月 細目妥結

昭和46年2月 工事着手

という経過をたどり、関係各機関の非常なご協力にもかかわらず、当初予定より残念ながら2か年ほど遅れる結果となりました。

(2) 環境整備のための投資額を大幅に増加したこと。

原計画では、埋立地造成に伴う付帯工事としては、道路と合流式下水管等の工事を予定しておりましたが、この地域内での居住環境と企業環境を主として公園緑地の整備によつて高める施策を講ずると同時に上水道・分流式下水管をも布設することとし、基幹となる環境をさらに整備するため、所要の経費を追加いたしました。

なお、工場廃液の処理等特殊環境整備については、別途に企業負担を徴したうえで、市が工事を行なうことといたします。

(3) 労務費、材料費等の物価上昇に対応できる措置をとりいれたこと。

原計画は、昭和43年当時の労務費、材料費等を基準として

立案したのでありますが、その後、これらの単価は毎年かなりの上昇をみており、既定工事費の増額を必要とするにいたりました。

- (4) 海の公園の形状と規模が新しい構想で検討されているのに対応する措置を講じたこと。

原計画では、海の公園部分はできるだけ自然水面を保存するという趣旨で立案されていましたが、その後漁業者の転業対策の場としての利用もあわせ考える事情が生じたので、現在別途検討が続けられております。

島状の緑地施設とともに自然の砂浜を再現するという構想にそつて整備ができるよう所要の予算枠を見込みました。

4. 変更計画の概要

対象区域	金沢区富岡町から乙鱸町に至る延長 7,000メートルの地先海面（原計画どおり）
事業費	921億6,900万円
埋立面積	約 660万平方メートル（約 200万坪，原計画どおり）
護岸延長	約 13,300メートル
事業年度	昭和43年度～昭和52年度の10か年継続事業

であり、土地利用計画としては、

都市再開発用地	約 308万平方メートル（約 93万坪）
住宅用地	約 100万平方メートル（約 30万坪）
海の公園用地	約 65万平方メートル（約 20万坪）
公共用地	約 187万平方メートル（約 57万坪）

であります。

なお、変更案による総事業費 921億余万円の資金の調達については、昭和47年度において第4回の外貨建起債90億円を予定し、その他については、主として埋立地の売却代金をあてる計画としております。

参考 1 2号地の埋立免許申請について

現在施工中の1号地の工事に引き続き2号地約172万平方メートルの埋立免許を申請しておりますので、別途港湾管理者の長から市議会に諮問がある予定であります。

参考2

金沢地先埋立事業費新旧対照表

単位：千円

工種	数 量			金 額			摘 要
	旧	新	比較増△減	旧	新	比較増△減	
埋立工事費	護岸工	8,090 ^M	13,325 ^M	5,235 ^M	3,182,500	6,534,590	3,352,090
	埋立工	60,000 ^{千M³}	68,000 ^{千M³}	8,000 ^{千M³}	11,835,000	16,095,000	4,260,000
	付				4,522,000	6,720,200	2,198,200
	帯				4,244,650	7,242,188	2,997,538
	工				1,815,850	3,108,022	1,292,172
	小計			10,582,500	17,070,410	6,487,910	
	工事費計			25,600,000	39,700,000	14,100,000	
	環境整備費				10,640,000	10,640,000	
	管理費その他			7,900,000	21,300,000	13,400,000	
	公債諸費			7,789,014	20,529,000	12,739,986	
	合計			41,289,014	92,169,000	50,879,986	

参考3 金沢地先埋立計画平面図(変更計画)

金 沢 区

